

移動スーパー

有限会社安達商事による移動販売

～ ロールスーパーの中山間地商業への挑戦 ～

1 概要

(有)安達商事は、固定店舗でスーパー、コンビニを経営するほか、中山間地域を対象とした移動販売を実施。販売している品目は、生鮮3品やおにぎりやサンドイッチ等のコンビニ商品など利用者からの要望をもとに品揃えしている。

2 背景ときっかけ

移動販売の端緒は、大型スーパーの出店で客数が減少した際に「ならば、こちらから販売に行けばよい」と考えたことにある。過疎化の進展等で大型スーパーは撤退したが、安達商事は「地域の生活を守りたい」という思いの下で、逆にJAの閉鎖店舗の引き受けや、大型移動販売車の導入などで事業を拡大している。

3 取組の内容

1. 移動販売車の事業概要について

対象地域：鳥取県日野郡日野町、江府町及び西伯郡伯耆町の約70ヶ所

販売商品：生鮮3品、牛乳、総菜、弁当、日用品

移動販売車数：5台（冷蔵・冷凍ショーケースを完備）

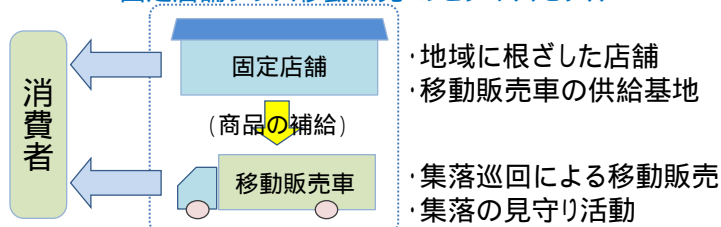
販売頻度：上記地域の70ヶ所で週2回の巡回販売

2. 行政との関係について

江府町から移動販売車の燃料、車検、定期点検に係る費用の1/3の補助を受けている他、鳥取県等と協定を締結（H20年8月）し、中山間集落見守り活動支援事業に参画している。日々地域を巡回する事業特性を活かして、地域住民の見守り活動に取り組んでいる。

【事業イメージ】

固定店舗プラス移動販売のビジネスモデル



移動販売車の商品の供給について

移動販売車から在庫状況の連絡を受け、固定店舗で供給商品をピックアップし、ワゴン車により巡回中の移動販売へ商品補充する。



【移動販売車と地域住民】

4 取組の効果

- 移動手段を持たない過疎地域の高齢者に、買い物機会の提供はもちろんのこと、そこでの会話を楽しみに来店しており、集落のコミュニケーションの場となっている。
- 生鮮品をはじめ、コンビニのおにぎりや弁当など多様な食料品の他、日用品までを積んだ移動販売車が巡回しており、中山間地域でもワンストップサービスを享受している。

5 取組上の工夫

- 移動販売を行うに当たっては、地域住民との結びつきを深めるため、地元の人を雇用し販売活動を実施している。
- 移動販売車までも出て行くことが困難な高齢者には、商品を玄関先まで持ち込み対応している。
- 事前注文にも対応。(御用聞きをしながら集落の見守り)
- (株)ローソンとのFC契約で店舗開設し、移動販売車でのコンビニ商品販売を実現。
- 固定店舗と移動販売車を結びつけることで、品切れのない移動販売を実現し、顧客ニーズに応えている。

6 今後の展望

- 地域の活性化には若者の地域定住が必要と考えており、地元高校から新卒採用するなど、地域の雇用確保にも積極的に取り組む。
- 移動販売車に病院の看護師が同乗して、高齢者の健康を見守る活動を行うことを実施(平成23年7月6日より各月1回実施)。
- 地元住民が自家消費などで生産している野菜について、余剰の野菜を買い付けるシステムを構築することを検討。

7 参 考

事業を展開している地域の人口等の概要

日野郡江府町

- 人口 3,643人
- 世帯数 1,099世帯
- 高齢者人口 1,347人(37.0%)
- 飲食品小売店数 14事業所

日野郡日野町

- 人口 4,185人
- 世帯数 1,459世帯
- 高齢者人口 1,602人(38.3%)
- 飲食品小売店数 19 事業所

西伯郡伯耆町

- 人口 12,343人
- 世帯数 3,652世帯
- 高齢者人口 3,662人(29.7%)
- 飲食品小売店数 23事業所

人口、世帯数及び高齢者人口は平成17年国勢調査、飲食品小売店は平成19年商業統計調査の結果による。

【問い合わせ先】(有)安達商事

住所：鳥取県日野郡日野町根雨630 電話：0859-72-0175